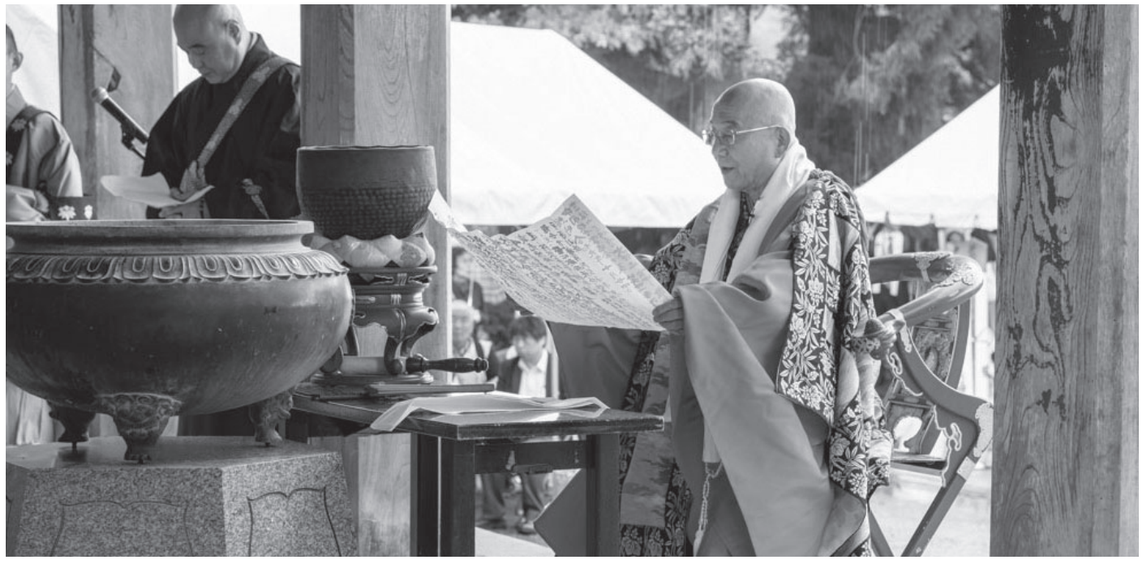
中国観音霊場会 観音だより

観音ラブレター　No.83

●編集・発行　中国観音霊場会青年部
〒755-0067　山口県宇部市小串210　宗隣寺内
TEL 0836-21-1087　FAX 0836-21-1137

令和元年度 合同法要
お参りありがとうございました！



令和元年度 中国観音霊場会 合同法要 御礼

大山寺は、七一八年金蓮上人により開かれ、昨年二〇一八年に開創千三百年の慶事をむかえました。本年はその記念行事をしめくくる年にあたり、去る十月二十四日に結願法要を中国観音霊場会合同法要と共に厳修しました。当日は、あいにくの空模様で一部予定を変更しましたが、霊場会各寺院諸大徳ご出仕のもと、滞りなく諸行事を終えさせていただきました。ご多忙中にもかかわらず、しかも遠路よりご参拝頂き、また、丁重なご挨拶を賜りましたことを心よりあつく御礼申し上げます。

新たなスタート開創一三〇一年と新元号令和元年が重なる良きご縁を頂戴し、その記念すべき年に合同法要をむかえさせていただいた事は、長き間法灯を守ってこられた先人のご遺徳と、見守っていただいた当山観音堂ご本尊十一面観音さまのご加護と感激にたえません。

これを機にあらためて、観音信仰の啓蒙はもとより、神仏のおわします山、大山の偉大なるお力を頂戴し、宗祖伝教大師様の「一隅を照らす」精神を心に刻み、一丸となって研鑽に励む所存でございます。これからも、一層格別のご厚情とご指導ご便達を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

当日は取込中にて不行き届きの点があったこと何卒ご容赦下さいます様お願い申し上げ、略儀ながら書中を以て御礼ご挨拶といたします。

合掌九拝

第二十九番札所　大山寺 住職　大館禅雄

「中国観音 友の会」会員募集のご案内

中国観音霊場会では、皆様により親しんで戴くために「中国観音友の会」を作り、右の要項で活動して参ります。 多くの方とご縁を結ばせていただき観音信仰を深めて参りたいと思いますので、この機会にご入会いただきますようご案内申し上げます。

年会費 ▶ **2,000円**
期　間 ▶ **1ヶ年**（例）令和元年12月15日振込の場合は、令和2年1月1日から令和2年12月末までとなります。
特　典 ▶ ①「観音だより」を年4回ご指定の場所に郵送致します。
② 各寺院において色々な特典（記念品の進呈等）がございます。
③ 入会初年度は、中国観音霊場会発行の「ザ・観音」を進呈します。
④ 毎年秋に行われます合同法要において**特別に祈願したお守札**を授与致します。
⑤ 2年目以降の継続会員には、継続年数（3年、5年、7年、10年、15年、20年）により記念品を贈呈致します。

詳しいお問い合わせは　中国観音霊場会 「中国観音 友の会」 事務局
〒729-0471　広島県三原市高坂町許山22 佛通寺内　TEL 0848-66-3502　FAX 0848-66-2563

中国観音霊場会ホームページ！　http://kannon.org

観音ひろば

Q 仏様にお供えをした後に下げたものは、どうしたらいいのでしょうか。（30代・女性）

A お供物のお下がりについて、お経等には食（じき）・不食（ふじき）の両方が説かれていますが、仏事などで仏様にお供えするものは本来、物欲・所有欲を離れた無私・無欲の心でお供えをしますので、集まった方々、親類縁者、ご近所の方々にお分けする（お接待をする）のがよろしいかとおもわれます。

回答者／第八番札所 明王院
副住職　片山　尊之

先達だより

三瀧寺　先達
真部悦子

巡拝は楽しい♪

結論から言いますと「巡拝の旅は楽しい」、この一言に尽きるように思われます。これまで様々な旅をしてきました。美しい風景を目にしたり、味わうことのできぬ地産の品に舌鼓を打ったり、温泉につかって身体がほかほかして和らぐ時など、旅はよいものだなぁと思います。でもそれ以上にお寺からお寺へと、ひたすらお経を唱えて歩く巡拝の旅は、心が洗われ、心が満たされ、ああ来てよかったなぁとしみじみ思う旅となります。

ある巡拝の折に「住職さん、このお寺は初めてですよね。」と申すと、住職さんはにこにこ笑いながら、「三度目ですよぉ。真部さんは来る度が初めてに思えて新鮮でいいですねぇ。」と言われてしまいました。あちこちとお参りをして記憶が曖昧になっているのかもしれませんが、お参りする時の「想い」や「周囲の状況」が、その時その時で異なり、将に「心新たにお参りをしている」のだろうと思います。ですからいつも『一期一会』の気持ちでお経を唱えることができ、それが巡拝という旅の深さになっているのでしょう。巡拝の旅に満願はあっても終わりはないと思いますし、また旅に出ましょうと言われると、急ぎ旅支度を始めるのです。

編集後記

三波春夫の「お客様は神様です」とは、舞台に立つものの心情を述べたものです。サービスの質が向上するのに比例し、現代人はお客様根性が酷いことになっていると感じることがあります。オリンピックイヤーを前に、見聞きする事例を他山の石とせず、あるべきお客の振る舞いを今一度考えてみてはと思います。本年も残すところあとわずか。良いお年をお迎えください。

（編集部　宗隣寺内　山中 祐生）

33 中国三十三観音霊場会寺院

鳥取県			島根県						山口県						広島県					岡山県								
第二十一番	第二十二番	特別霊場	第二十三番	第二十四番	第二十五番	第二十六番	第二十七番	第二十八番	第二十九番	第三十番	第三十一番	第三十二番	第三十三番	第一番	第二番	第三番	特別霊場	第四番	第五番	第六番	第七番	第八番	第九番	特別霊場	第十番	第十一番	第十二番	第十三番	第十四番
大雲院	観音院	摩尼寺	三佛寺	長谷寺	大山寺	清水寺	雲樹寺	一畑寺	鰐淵寺	禅定寺	神門寺	多陀寺	観音院	大照院	功山寺	宗隣寺	龍蔵寺	洞春寺	漢陽寺	般若寺	大聖院	三瀧寺	佛通寺	向上寺	千光寺	西國寺	浄土寺	明王院	円通寺	蓮台寺	法界院	木山寺	誕生寺	正楽寺	餘慶寺	西大寺

観音巡拝指南書「The 観音」＊観音巡拝の真の意義と魅力・霊場三十七全寺院の紹介！

観音様から「生きる力をいただく旅」、それが観音巡拝の旅。

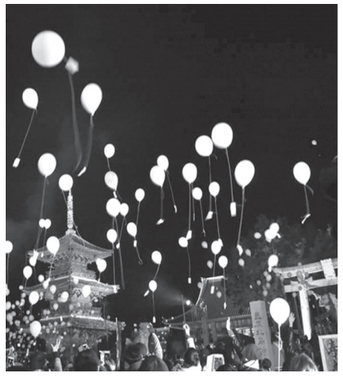
寺院短信　第二番札所（岡山県瀬戸内市）

上寺山 餘慶寺 第二十回 上寺山両詣り ライトアップ

令和元年十二月三十一日十八時より、豊原北島神社と餘慶寺が隣接する上寺山では、行く年と来る年に願いを込めて、神と仏にお詣りができ、両方のおかげをいただけることから「両詣り」と名付けていろいろな行事を実施します。

今回は第二十回目という節目であり、ここまで開催できたことへの感謝と、令和の新時代への希望を参拝者の皆さまと一緒に感じられればと思っております。観音さまに手を合わせ、新年が明るく希望に満ちた年にしていきたいものです。

年末年始、中国観音霊場ならびに上寺山へ是非ともお参りください。



寺院短信　第九番札所（広島県尾道市）

転法輪山 浄土寺 尾道七佛めぐり 宝印紙のご紹介

中国観音霊場会の札所の内、尾道旧市街にあります浄土寺・西國寺・千光寺は、市内4カ寺のご寺院様と共に尾道七佛めぐりの札所でもあります。

尾道七佛めぐりでは本年十月二十二日に執り行われました即位礼正殿の儀に合わせまして、新たに巡拝の証として宝印紙の授与を開始いたしました。

七体の佛様を記した印を七カ寺でそれぞれ違う色紙に押印しております。七カ寺をお参りし、七つのご利益を受けた七色の宝印紙をご参拝の証として是非、お求めください。

尾道七佛めぐり

HP https://shichibutsu.jp/

「尾道七佛めぐり」で検索

寺院短信　第十五番札所（山口県周南市）

鹿苑山 漢陽寺 笑福万来布袋像

この度、檀家の方から「家にある石像をお寺にいかがでしょう?」との言葉をいただき、お家に拝見しに行くと、何とも微笑ましい布袋さまが庭に鎮座されておりました。布袋尊とは中国に実在した禅僧と聞いていたので、有りがたく山門左下の場所に「笑福万来布袋像」と名前を付けさせていただきお招きいたしました。布袋さまの抱えてらっしゃる袋は「堪忍袋」と言うそうです。「堪忍袋の緒が切れる」との表現がありますが、布袋さまの笑顔に癒されながらも、堪忍袋の緒が切れて、布袋さまのお顔が鬼の顔に変わらぬよう気を付けましょう。

住職法話　第五番札所（岡山県岡山市）

金剛山 遍照寺 法界院 住職 橋本 春峯 感じる心

感謝をするための第一歩が、「感じる」ということです。

感謝の「感」とは、分解しますと「咸」+「心」となります。「感」という字は、「心を一つにする」という意味があります。ですから「感じる」とは、「心と心が一つになっていくこと」といえます。

似た字で「惑」というものがあります。「まどう」という字です。これは、先程の「感」とは正反対の意味で、「或」という字は「区切る」という意味を持ちます。「域」、「國」は、その意味が反映された漢字です。ですから「惑」は「区切られた心」ということができます。区切ってしまったら、一つになることはできません。同じ「心」でも上に乗るものが「咸」か「或」かで、感じるか惑うかが違ってくるのです。

私達の日常をみるにつけ、どちらかといえば、心を一つにして感じていくことよりも、自分を優先するために、自分と他人を区切っていくことの方が多いのではないでしょうか。それなら、感謝できないのは当たり前です。

西暦二〇〇〇年、ミレニアムとカウントダウンなどして迎えた新年からもう二十年が経ちました。

本年のお正月は「令和」初のお正月です。オリンピックを迎える年のお正月とかいって浮かれている人たちもきっと多くいらっしゃることでしょう。「復興オリンピック」と銘打たれていますが復興はまだまだ遠いようです。嫌な事件、事故、自然災害がたくさん起こっています。どうぞ今年こそは平和な世の中であってほしいものと願わずにはいられません。

観音様は、いつもあなたの「心の中」におられますから・・・

合掌

寺院短信　第二十三番札所（鳥取県鳥取市）

乾向山 当隆寺 大雲院 念願の収蔵庫完成

本年八月七日、念願であった収蔵庫が完成しました。当初の予定では三年後と思っていましたが、昨年から本格的に始まった文化庁の古文書調査の進み具合が早くなり、資料を保管する封筒と段ボール箱の数がどんどん増えていき、本堂等では収納が困難になると予想され、今年四月に着工しました。一階を展示室と作業スペースに分割し、二階を収蔵庫という配分にしています。調査がまだ二年続きますので、展示室のお披露目はそれ以降になります。十一月一日には、古文書以外の美術・工芸品や仏像などへの文化庁の下調べがあり、今後の方針が出ることになっております。

寺院短信　第二十八番札所（島根県安来市）

瑞光山 清水寺 権現粥接待 一月二十日

当山では、守護神「摩多羅神」に年一回の御供養をお供えします。朝から伝統の精進料理を板前さんにお願いして謹製していただき、特別な摩多羅神供養法を修法して、一年の安全無事をお願いしています。

そして供養が終わった後、摩多羅神にお供えしたお供えをお粥に作り直し、参拝者先着二〇〇名にお裾分けしています。この権現粥を頂戴すると一年病気をしないと言い伝えられ、私たち寺院関係者も元気に過ごさせて頂いています。

多くのご家庭に幸せを
お仏壇 墓石 寺院仏具
素心
〒675-0012　兵庫県加古川市野口町野口 81-1
フリーダイヤル お問い合わせ先 0120-20-9988
●加古川本店
●姫路名古山店
●高砂店
●太子店
http://www.so-shin.jp

中国観音霊場　第33番札所
乾向山東隆寺 大雲院

〒680-0061　鳥取県鳥取市立川町4-24
TEL0857-22-5608　FAX0857-22-5630

上寺山　餘慶寺
阿弥陀堂（納骨堂）
永遠の
やすらぎの場を
ご提案いたします
随時見学できます　毎日8時～17時
現地説明会開催　毎月第2日曜
14時～
──見学・資料請求等のお問い合わせ──
岡山県瀬戸内市邑久町北島1187
TEL.086-942-0186(8:00～17:00)

尾道七佛めぐり
尾道七佛めぐり事務局
尾道市東土堂町 15-1 千光寺
0848-23-2310
https://shichibutsu.jp/

●お問い合わせは！　中国観音霊場会事務局／〒692-0033 島根県安来市清水町528　第28番 清水寺 内　TEL 0854-22-2151